

# 健康と温泉フォーラム第115回月例研究会

- ・主催 特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム
- ・共催 一般財団法人日本健康開発財団、地域活性学会、特定非営利活動法人日本スパ振興協会
- ・併催 日本温泉気候物理医学会温泉療法医研修プログラム(1単位)
- ・テーマ 「温泉地実践リーダーワークショップ2024」

The Wave of Local Thermalism by New Leader in 2024

- ・方式 ハイブリッド方式(対面集会方式+WEB配信)
- · 日時 2024年3月29日(金) 1400~1645 開場(1330~)
- ·会場 東京文化会館 4 F大会議室 (定員50人)
- ·会費 対面集会、WEB共 2千円(会員)3千円(一般)無料(報道·学生)
- ・コーディネーター 合田純人 (NPO健康と温泉フォーラム常任理事)
- ・講師(プレゼンタイトル、プロフィール)

#### ● 「温泉地のコミュニティーデザインと文化・建築遺産」



向田 薫 略歴: 二セコ町在住。二級建築士。歴史温泉建築家、二セコ観光圏温泉大使、温泉ソムリエアンバサダー、二セコ温泉部 部長。事務ねこ舎 代表。講演趣旨: スキーリゾートとして世界的に有名な北海道ニセコ町において、地域住民で形成したコミュニティー「ニセコ温泉部」からニセコ温泉郷の魅力を発信し、温泉を地域の観光コンテンツの一つとすることを目指す。また、文化財建築の温泉宿に残る日本の建築遺産や文化財に成り得る入浴施設について、石川県金沢城再建時の設計士だった経験を活かし、その魅力や今後の課題に迫る。

### ●「温泉地と地域資源を活用した健康関連商品の企画研究」



安光孝代 略歴: yasumirelax代表、ハーバルセラピスト、温泉ソムリエ、山口県湯 田 温泉温泉地で働く傍ら、2021年よりyasumirelax代表としてオリジナルハーブティーなどの健康関連商品を開発。温泉地でのワークショップを通じて、心身共にリラクゼーションを感じられる活動を目指している。講演趣旨:約11年前より湯田温泉配給協同組合に職員として勤務。温泉保護や温泉資源の活用(温泉ミストゆだうるる)、湯田温泉の活性化事業にも関わる。2021年よりyasumirelax代表として、地元産ハーブを活用した商品開発(ヤスミティー)やワークショップを実施したり、温泉地の地域資源を活用した企画提案をしながら、心身ともに健康的な生活を送るための、環境に配慮したエシカルな活動を目指している。

#### ●「癒しと健康を提供する、俵山版「アルベルゴ・ディフーゾ」構想」



**藤永義彦 略歴**:山口県俵山温泉で第2の人生として宿泊と飲食業を営みながら温泉街の活性化に取り組む。温泉利用指導者。前長門市役所商工観光課長。**講演趣旨**:湯治場として栄えた俵山温泉も、少子高齢化の波を受けてその活力は急速に衰退している。家族経営の小さな宿も後継者はなく終活を見据える状況だ。新しい湯治のスタイルを模索しながら温泉街のなかで事業を継続し、クリエイティブな若者たちを交えた魅力づくりの手法として俵山版分散型ホテルを 模索する。さらに、ポストウエルネスをにらみ、医療とも連携した温泉地づくりを目指す。テーマは「癒しと健康」。

#### ●「"Not well-known hot springs " 俵山温泉の可能性」



**斎木泰彦 略歴**: 医療法人理事長、医学博士。2007年から斎木病院で救急医療に従事。温泉専門医としても地域をサポート。**講演趣旨**: 「日本海に面したまちで、衰退にあらがう異色の医師」、知り合いの新聞記者がつけてくれたネーミングを持っている。"Not well-known" 日本国内の多くの温泉地が抱える問題だが、温泉に関する一般市民や訪日外国人の関心は大きく、他にない楽しさを求める多様性の時代に突入しており、ある日突然スポットライトを浴びる可能性を秘めている。今回、温泉医療を含めたウェルビーイングの観点から俵山温泉の魅力に迫る。

#### ●「みなかみ18湯における温泉地活性化の取り組み」



深津卓也 略歴: 早大卒。三井物産を経て、1991年7月ホテル辰巳館入社、専務。2006年4月から社長。群馬県温泉協会専務理事、日本温泉協会監事、群馬県観光審議員、みなかみ町商工会副会長、他公職多数。群馬県出身、60歳。講演趣旨:温泉街の衰退、人口減少、3町村合併後の観光地域づくりの推移と課題、展望を考える。(みなかみDMO、入湯税、外部資本、ユネスコBR他)水源郷「みなかみ」の町、「人」「自然」の感動体験から持続可能な観光の方向性を模索する。3 K(環境・観光・健康)3 K(共感・協調・共生)に基づくみなかみCivic Prideの醸成とはどうするべきか?観光庁の地域再生高付加価施策は今後地域にどのような影響を及ぼすか考察する。温泉文化のユネスコ無形文化遺産登録への道。

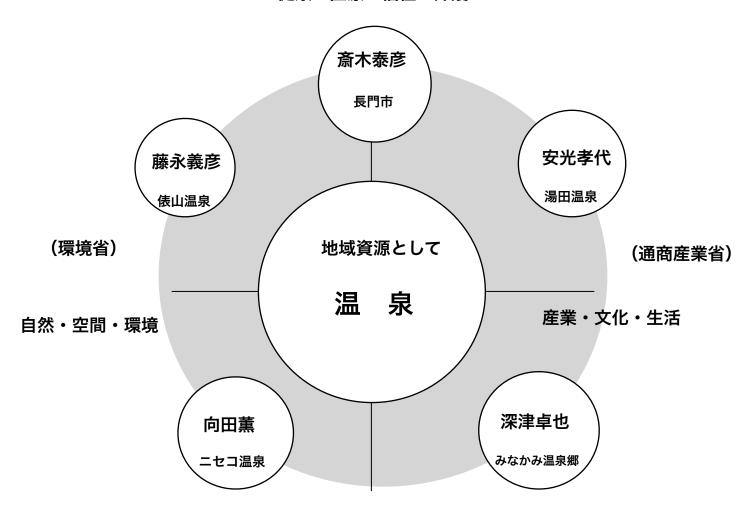


## 第115回月例研究会企画構成イメージ図 (ファシリテーター) (温泉地実践リーダーワークショップ)

### 2024年3月29日 於 東京文化会館

(厚生労働省)

健康・医療・福祉・介護



観光・旅行・レジャー (国土交通省)